

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【公開番号】特開2006-301975(P2006-301975A)

【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2005-122948(P2005-122948)

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

H 04 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 3 4 0 Z

H 04 N 1/00 1 0 7 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年4月16日(2008.4.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ネットワークを介して通信可能な情報処理装置であって、所定の検索条件を入力して前記ネットワーク上の情報の検索処理を実行する検索手段と、

前記検索手段による検索処理時に用いられた前記検索条件を登録する登録手段と、前記検索手段によって前記検索条件を用いて検索された第1の検索結果を取得する第1の検索結果取得手段と、

前記第1の検索結果の取得後、前記登録手段によって登録された前記検索条件を用いて前記ネットワーク上の情報の再検索を実行する再検索手段と、

前記再検索手段によって前記検索条件を用いて再検索された第2の検索結果を取得する第2の検索結果取得手段と、

前記第1及び第2の検索結果を比較して、検索された情報の差分情報を検出する差分検出手段と

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

前記差分検出手段は、前記再検索手段により新規に検索された第1の情報及び前記検索手段では検索されたが前記再検索手段では再検索されなかった第2の情報を検出し、

更に、前記差分検出手段で検出した前記第1及び第2の情報の一覧情報を前記差分情報として出力する出力手段を備える

ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記再検索手段により新規に検索された前記第1の情報及び前記検索手段では検索されたが前記再検索手段では再検索されなかった前記第2の情報の一覧情報をHTMLファイルとして生成するHTML生成手段と、

前記HTML生成手段で生成したHTMLファイルを公開ウェブサーバを用いて公開させる差分サイト公開手段と

をさらに備えることを特徴とする請求項2に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記公開ウェブサーバが公開する前記H T M L ファイルを表示画面に表示する表示手段をさらに備えることを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記差分検出手段によって検出された前記差分情報に基づく画像を記録媒体上に形成する形成手段をさらに備えることを特徴とする請求項1から4までのいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記検索手段が、前記検索条件を用いて所定期間間隔で定期的に検索を行い、

前記第2の検索結果取得手段が、前記検索手段によって定期的に再検索を行って第2の検索結果を取得し、

前記差分検出手段が、検索された情報の差分情報を定期的に検出する

ことを特徴とする請求項1から5までのいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記検索手段によって前記検索条件を用いて検索が行われる前記所定期間間隔に関する指示をユーザから受け付ける指示手段をさらに備えることを特徴とする請求項6に記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記再検索手段は、前記登録手段によって登録された前記検索条件を用いて、ユーザの指示を受けたことを条件として再検索を実行することを特徴とする請求項1から7までのいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記H T M L 生成手段が、前記差分検出手段によって検出された前記第1及び第2の情報を縮小画像に変換し、該縮小画像を含むH T M L ファイルを生成することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項 10】

前記H T M L 生成手段が、前記差分検出手段によって検出された前記第1及び第2の情報における前記検索条件を含む所定文字列を抽出することを特徴とする請求項3に記載の情報処理装置。

【請求項 11】

ネットワークを介して通信可能な情報処理装置における情報処理方法であって、

所定の検索条件を入力して前記ネットワーク上の情報の検索処理を実行する検索工程と、

前記検索工程による検索処理時に用いられた前記検索条件を登録する登録工程と、

前記検索工程によって前記検索条件を用いて検索された第1の検索結果を取得する第1の検索結果取得工程と、

前記第1の検索結果の取得後、前記登録工程によって登録された前記検索条件を用いて前記ネットワーク上の情報の再検索を実行する再検索工程と、

前記再検索工程によって前記検索条件を用いて再検索された第2の検索結果を取得する第2の検索結果取得工程と、

前記第1及び第2の検索結果を比較して、検索された情報の差分情報を検出する差分検出工程と

を有することを特徴とする情報処理方法。

【請求項 12】

ネットワークを介して通信可能なコンピュータに、

所定の検索条件を入力して前記ネットワーク上の情報の検索処理を実行する検索手順と、

前記検索手順による検索処理時に用いられた前記検索条件を登録する登録手順と、

前記検索手順によって前記検索条件を用いて検索された第1の検索結果を取得する第1の検索結果取得手順と、

前記第1の検索結果の取得後、前記登録手順によって登録された前記検索条件を用いて前記ネットワーク上の情報の再検索を実行する再検索手順と、

前記再検索手順によって前記検索条件を用いて再検索された第2の検索結果を取得する第2の検索結果取得手順と、

前記第1及び第2の検索結果を比較して、検索された情報の差分情報を検出する差分検出手順と

を実行させるためのプログラム。

【請求項1 3】

請求項1 2に記載のプログラムを格納したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、ネットワークを介して通信可能な情報処理装置及び情報処理方法並びにプログラムに関する。